

グローバル株式トップフォーカス

運用報告書(全体版)

第7期(決算日 2023年3月15日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「グローバル株式トップフォーカス」は、2023年3月15日に第7期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託期間	2016年3月31日から2026年3月16日までです。
運用方針	主として、世界の株式(預託証券を含みます。)を投資対象とする投資信託証券(投資信託または外国投資信託の受益証券(振替投資信託受益権を含みます。))および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。)の一部、またはすべてに投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP」円建投資証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要運用対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

お知らせ

当ファンドは、2023年6月16日付で信託期間を5年更新し「2031年3月14日まで」に変更予定です。

<643076>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時~午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			債権組入比率	証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税金配分	み騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
3期(2019年3月15日)	14,046	0	7.9	—	96.6	115
4期(2020年3月16日)	12,788	0	△ 9.0	—	97.4	28
5期(2021年3月15日)	20,810	0	62.7	—	98.0	61
6期(2022年3月15日)	21,521	0	3.4	—	97.7	287
7期(2023年3月15日)	22,725	0	5.6	—	97.3	902

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

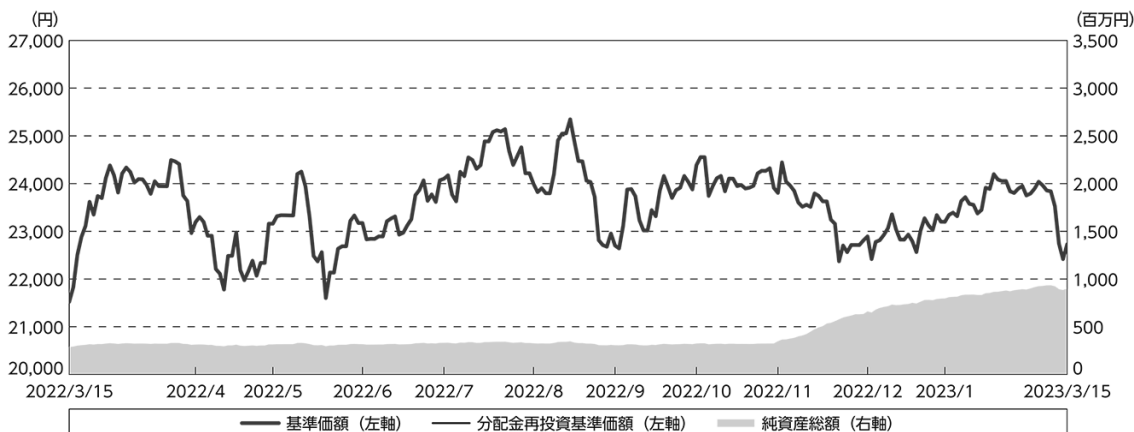
年月日	基準価額		証券組入比率
	騰落率	率	
(期首) 2022年3月15日	円	%	%
3月末	21,521	—	97.7
4月末	24,174	12.3	97.7
5月末	23,191	7.8	97.8
6月末	23,159	7.6	98.0
7月末	23,173	7.7	98.1
8月末	24,100	12.0	97.9
9月末	23,993	11.5	97.8
10月末	22,702	5.5	97.8
11月末	24,388	13.3	97.5
12月末	23,805	10.6	90.9
2023年1月末	22,893	6.4	94.4
2月末	23,199	7.8	97.8
(期末) 2023年3月15日	23,951	11.3	97.5
	22,725	5.6	97.3

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2022年3月16日～2023年3月15日)

期中の基準価額等の推移



期首：21,521円

期末：22,725円 (既払分配金 (税込み)：0円)

騰落率： 5.6% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首 (2022年3月15日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、ルクセンブルグ籍外国投資法人「日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP」円建投資証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米国の金利上昇一服や過度な利上げ見通しの後退などから、主要株式市場が反発したこと。
- ・中国のゼロコロナ規制の緩和などを受けてセンチメントが好転したこと。
- ・米国の積極的な利上げ姿勢や世界的な金利上昇などを背景にアメリカドルや主要通貨に対して円安が進んだこと。

<値下がり要因>

- ・インフレ高進や各国の中央銀行の利上げ姿勢などから景気悪化懸念が広がったこと。
- ・大幅な利上げの長期化観測や景気減速懸念、世界的な金利上昇などが悪材料となり、主要株式市場が再び2022年の年初来安値を更新する下落となったこと（2022年8月中旬～9月下旬）。

投資環境

(株式市況)

期間中の株式市場は、インフレとそれに対する金融政策が主要な課題となりました。地政学的リスクや新型コロナウイルスの感染拡大に各国の中央銀行の対応が遅れたことなどから、供給サイドの課題が悪化し、多くの商品において価格上昇が引き起こされました。米国の労働市場は依然として逼迫しており、こうしたコスト圧力は賃金上昇にも波及し始めています。足元では若干鈍化の兆しが見られるものの、米国連邦準備制度理事会（FRB）がインフレスパイラルを懸念していることは引き続き注意が必要です。FRBが大幅な利上げを行なったことや地政学的リスクの高まりが、債券利回りの上昇と株式市場のリスクオフにつながりました。2022年2月以降のロシアによるウクライナ侵攻により、ロシアにとってエネルギー供給は武器となり、欧州へのガスおよび石油の供給は大幅に縮小されました。

想定外の事態が現実となったことで、半導体関連で世界経済に影響力を持つ台湾に対する中国の態度など、長年にわたり潜在的な緊張要因となっていた関係も表面化しました。サウジアラビアと米国の関係悪化は、ロシアの欧米への石油供給が減少するなか、石油輸出国機構（OPEC）が増産を見送ったことでも浮き彫りになりました。米国は、欧州や英国の消費者が直面している急速なエネルギーコストの上昇から消費者を保護するため、戦略石油備蓄を大幅に削減しました。

このような背景から、エネルギーセクターが好調に推移しました。一方、流動性が高く資本コストが人為的に低い局面で市場をけん引していたセクターは下落しました。通信サービスや一般消費財・サービスセクターなどが劣後し、これは、政策金利が高止まりする限り株式市場の主導権が変化していく可能性を示唆しています。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.01%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.02%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.08%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.25%近辺で期間末を迎えました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

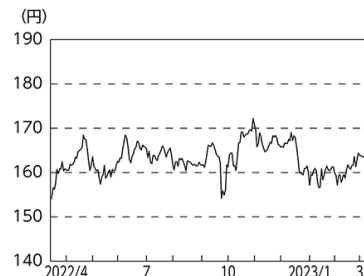
円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



円／イギリスポンドの推移



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドでは、収益性を追求するため、「日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP」円建投資証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP)

期間中は、金利正常化やコロナ禍後の中国の経済再開から恩恵を受けた銘柄などが最もプラスに寄与しました。また、銘柄固有の理由で上昇したヘルスケア銘柄や、個人消費の回復から恩恵を受けた銘柄なども、プラスに寄与しました。

一方で、継続的な製品リコールや、買収の資金調達に対する懸念など、特殊な状況の影響を受けた銘柄が主にマイナスに影響しました。高ベータ銘柄も、投資家のリスク許容度が低下したことから軟調な推移となりました。

セクター別では、一般消費財・サービスや金融の組入比率を高めにしていたことや、コミュニケーション・サービスの組入比率を低めにしていたことがプラスに寄与しました。一方、ヘルスケアや資本財・サービスの組入比率を高めにしていたことや、エネルギーセクターの組入比率を低めにしていたことがマイナスに影響しました。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第7期
	2022年3月16日～ 2023年3月15日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	12,724

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、原則として「日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP」円建投資証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP)

期間中は、全体として前年とほぼ同じような動きとなりました。2022年の初めに投資家の保有が増加してバリュエーション（株価評価）が上昇したセクターが主に劣後しました。2023年第1四半期は若干の回復基調にあるとはいえ、2022年の弱気市場から脱するには、過去に目を向けて有益な教訓を得ることができるか確認する価値があります。歴史的には、弱気相場に向かう局面で主導していたセクターが、弱気相場終了後に再びリーダーシップを発揮することは極めて異例です。当ファンドでは、資本コストは当面の間は高止まりし、投資家は、流動性が無限だった時代に必要と感じたものよりも、エネルギー安全保障や安価な医療のような不確実な世界で必要とされるものに引きつけられる傾向にあると考えています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年3月16日～2023年3月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 280	% 1.188	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(130)	(0.550)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(143)	(0.605)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(8)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	23	0.099	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(22)	(0.095)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	303	1.287	
期中の平均基準価額は、23,560円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

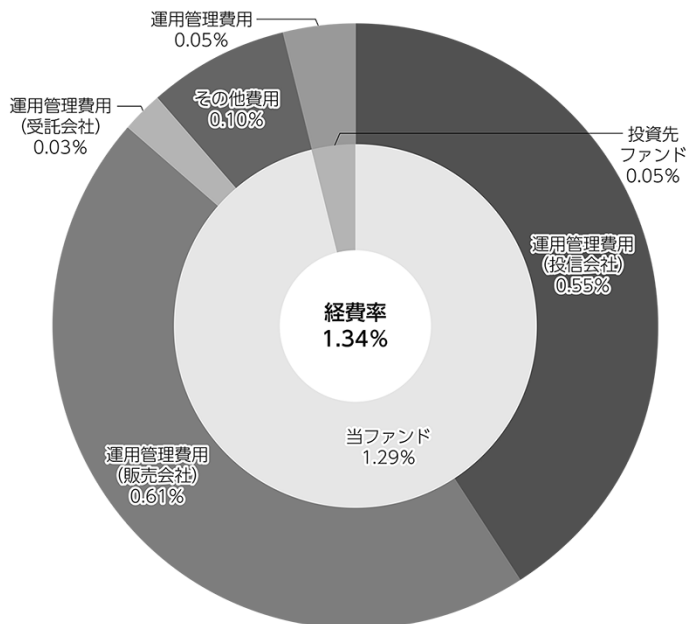
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.34%です。



(単位:%)

経費率(①+②)	1.34
①当ファンドの費用の比率	1.29
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.05

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年3月16日～2023年3月15日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP	千口 236,040	千円 607,737	千口 5,813	千円 15,433

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・アカウント・マザーファンド	千口 675	千円 676	千口 30	千円 30

○利害関係人との取引状況等

(2022年3月16日～2023年3月15日)

利害関係人との取引状況

<グローバル株式トップフォーカス>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$

<マネー・アカウント・マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年3月16日～2023年3月15日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年3月16日～2023年3月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2023年3月15日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		千口	千口	千円	%
日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP		119,387	349,614	878,265	97.3
合 計		119,387	349,614	878,265	97.3

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド		290	934	936

(注) 親投資信託の2023年3月15日現在の受益権総口数は、472,540千口です。

○投資信託財産の構成

(2023年3月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 878,265	% 96.0
マネー・アカウント・マザーファンド	936	0.1
コール・ローン等、その他	36,079	3.9
投資信託財産総額	915,280	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年3月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	915,280,207
コール・ローン等	36,077,706
投資証券(評価額)	878,265,804
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	936,697
(B) 負債	12,725,328
未払金	8,572,478
未払解約金	487,090
未払信託報酬	3,239,195
未払利息	17
その他未払費用	426,548
(C) 純資産総額(A-B)	902,554,879
元本	397,168,408
次期繰越損益金	505,386,471
(D) 受益権総口数	397,168,408口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,725円

(注) 当ファンドの期首元本額は133,678,449円、期中追加設定元本額は278,799,543円、期中一部解約元本額は15,309,584円です。

(注) 1口当たり純資産額は2.2725円です。

○損益の状況 (2022年3月16日～2023年3月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 6,046
受取利息	28
支払利息	△ 6,074
(B) 有価証券売買損益	1,681,275
売買益	4,768,821
売買損	△ 3,087,546
(C) 信託報酬等	△ 5,587,329
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 3,912,100
(E) 前期繰越損益金	△ 1,840,017
(F) 追加信託差損益金	511,138,588
(配当等相当額)	(290,942,407)
(売買損益相当額)	(220,196,181)
(G) 計(D+E+F)	505,386,471
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	505,386,471
追加信託差損益金	511,138,588
(配当等相当額)	(290,942,406)
(売買損益相当額)	(220,196,182)
分配準備積立金	10,700,247
繰越損益金	△ 16,452,364

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2022年3月16日～2023年3月15日)は以下の通りです。

項 目	2022年3月16日～ 2023年3月15日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	494,686,224円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	10,700,247円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	505,386,471円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	12,724円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	0円
------------------	----

○お知らせ

約款変更について

2022年3月16日から2023年3月15日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP	
	ルクセンブルグ籍外国投資法人	
運用の基本方針		
基本方針	信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いません。	
主な投資対象	世界の株式を主要投資対象とします。	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・先進国および新興国の株式を主要投資対象とします。 ・運用にあたっては、ボトムアップの企業分析とトップダウンのマクロ見通しを融合して、ポートフォリオを構築します。 ・EUのサステナブルファイナンス開示規制ではArticle 8 に該当し、環境や社会の特性を促進します。 	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・純資産の5%を超えてUCITSやその他UCIs (ETFを除きます。)への投資は行いません。 ・原則として、同一発行体が発行する有価証券の組入れは、純資産総額の10%以内とします。 ・借入れ額は、純資産総額の10%以内とします。 	
収益分配	投資主総会もしくは取締役会の決議で収益分配を行なうことがあります。	
ファンドに係る費用		
信託報酬など	純資産総額に対し年率0.05% (国内における消費税等相当額はかかりません。)	
申込手数料	ありません。	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
その他		
投資顧問会社	日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド	
管理会社	日興AMルクセンブルグ・エス・エイ	
信託期間	無期限	
決算日	原則として、毎年12月末日	

日興AMグローバル・エクイティ・ファンド
投資ポートフォリオ

2021年12月31日現在

数量 元本	銘柄	通貨	市場価格 (米ドル)	純資産に 占める割合 (%)
公式取引所に上場されている譲渡可能証券				
株式				
	ケイマン諸島			
93,700.00	TENCENT HOLDINGS LTD	HKD	5,490,062.13 5,490,062.13	1.46 1.46
	フランス			
47,911.00	SCHNEIDER ELECTRIC SE	EUR	9,396,377.76 9,396,377.76	2.50 2.50
	ドイツ			
76,980.00	HELLOFRESH SE	EUR	5,912,563.45 5,912,563.45	1.58 1.58
	ガンジー			
239,747.00	BURFORD CAPITAL LTD	GBP	2,503,640.57 2,503,640.57	0.67 0.67
	香港			
604,800.00	AIA GROUP LTD	HKD	6,097,417.06 6,097,417.06	1.62 1.62
	インド			
291,055.00	HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	INR	10,127,028.08 10,127,028.08	2.70 2.70
	アイルランド			
38,971.00	ACCENTURE PLC-CL A	USD	16,155,428.05	4.30
54,669.00	KERRY GROUP PLC-A	EUR	7,040,705.71	1.88
48,342.00	KINGSPAN GROUP PLC	EUR	5,772,324.85 28,968,458.61	1.54 7.72
	日本			
98,300.00	SONY GROUP CORP	JPY	12,356,325.59 12,356,325.59	3.29 3.29
	オランダ			
144,584.00	KONINKLIJKE PHILIPS ELECTRONICS	EUR	5,387,251.60 5,387,251.60	1.44 1.44
	スウェーデン			
327,629.00	HEXAGON AB-B SHS	SEK	5,198,239.48 5,198,239.48	1.39 1.39
	台湾			
544,000.00	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	TWD	12,092,369.98 12,092,369.98	3.22 3.22
	英国			
515,680.00	COMPASS GROUP PLC	GBP	11,531,658.76	3.07
96,612.00	LIVANOVA PLC	USD	8,446,787.16 19,978,445.92	2.25 5.32
	米国			
89,221.00	ABBOTT LABORATORIES	USD	12,556,963.54	3.35
233,636.00	ADAPTHEALTH CORP	USD	5,714,736.56	1.52
20,759.00	ADOBE INC	USD	11,771,598.54	3.14
4,139.00	AMAZON.COM INC	USD	13,800,833.26	3.68
26,074.00	AMERICAN TOWER CORP	USD	7,626,645.00	2.03
20,085.00	ANTHEM INC	USD	9,310,200.90	2.48
14,511.00	BIO-TECHNE CORP	USD	7,507,120.74	2.00
57,591.00	CARLSLE COS INC	USD	14,289,478.92	3.81
168,530.00	COCA-COLA CO/THE	USD	9,978,661.90	2.66
17,709.00	DANAHER CORP	USD	5,828,438.09	1.55
24,006.00	DEERE & CO	USD	8,231,417.34	2.19
79,473.00	DOLBY LABORATORIES INC-CL A	USD	7,567,419.06	2.02
114,578.00	EMERSON ELECTRIC CO	USD	10,652,316.66	2.84
124,857.00	ENCOMPASS HEALTH CORP	USD	8,148,167.82	2.17
40,825.00	GLOBAL PAYMENTS INC	USD	5,518,723.50	1.47
54,843.00	INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC	USD	7,500,877.11	2.00
48,268.00	LHC GROUP INC	USD	6,623,817.64	1.77
161,981.00	LKQ CORP	USD	9,723,719.43	2.59
27,114.00	MASIMO CORP	USD	7,938,436.92	2.12

数量 元本	銘柄	通貨	市場価格 (米ドル)	純資産に 占める割合 (%)
79,342.00	MICROSOFT CORP	USD	26,684,301.44	7.11
118,982.00	PALOMAR HOLDINGS INC	USD	7,706,464.14	2.05
103,434.00	PROGRESSIVE CORP	USD	10,617,500.10	2.83
15,248.00	SOLAREEDGE TECHNOLOGIES INC	USD	4,278,131.36	1.14
11,659.00	SVB FINANCIAL GROUP	USD	7,907,600.16	2.11
43,139.00	TRACTOR SUPPLY COMPANY	USD	10,292,965.40	2.74
83,346.00	TRANSUNION	USD	9,883,168.68	2.63
			247,657,703.61	66.00
			371,165,883.84	98.91
有価証券ポートフォリオ合計			371,165,883.84	98.91

金融デリバティブ商品

2021年12月31日現在

買建	売建	満期日	コミットメント (米ドル)	未実現評価(損)益 (米ドル)
外国為替先渡契約				
48,142,489.00 JPY	589,920.00 AUD	31/01/22	418,066.91	(10,735.54)
558,627,573.00 JPY	4,337,735.00 EUR	31/01/22	4,851,093.24	(83,425.77)
228,185,323.00 JPY	1,507,421.00 GBP	31/01/22	1,981,549.66	(59,524.71)
206,681,219.00 JPY	14,205,495.95 HKD	31/01/22	1,794,809.12	(26,882.58)
183,643,087.00 JPY	123,749,350.04 INR	31/01/22	1,594,747.16	(67,054.24)
589,920.00 AUD	48,878,046.00 JPY	31/01/22	428,895.58	4,345.61
640,495.95 HKD	9,329,183.00 JPY	31/01/22	82,153.86	1,121.84
10,854,155.04 INR	16,205,097.00 JPY	31/01/22	146,015.48	5,022.91
85,234,821.00 JPY	6,787,813.00 SEK	31/01/22	740,174.82	(9,485.68)
201,260,458.00 JPY	49,264,692.00 TWD	28/01/22	1,747,735.51	(32,241.20)
4,617,637,949.00 JPY	40,679,945.00 USD	31/01/22	40,679,945.00	(570,621.68)
				(849,481.04)
外国為替先渡契約合計				(849,481.04)
金融デリバティブ商品合計				(849,481.04)

純資産の概要

	純資産に 占める 割合 (%)
有価証券ポートフォリオ合計	371,165,883.84 98.91
金融デリバティブ商品合計	(849,481.04) (0.23)
銀行預金	10,726,344.09 2.86
その他の資産および負債	(5,770,056.10) (1.54)
純資産合計	375,272,690.79 100.00

ポートフォリオの内訳

セクター配分	ポートフォリオに 占める 割合(%)	純資産に 占める 割合(%)
化粧品	19.42	19.21
流通/卸売	10.76	10.64
コンピュータ・ソフトウェア	10.36	10.25
電気・電子機器	10.11	10.00
外食産業	9.29	9.18
保険	6.58	6.51
金融サービス	5.42	5.36
インターネット	5.20	5.14
事務機器	4.35	4.30
各種サービス	4.15	4.10
各種機械	3.85	3.81
鉱業	2.22	2.19
銀行	2.13	2.11
不動産	2.05	2.03
その他	4.11	4.06
	100.00	98.91

国別配分	ポートフォリオに 占める 割合(%)	純資産に 占める 割合(%)
米国	66.72	65.99
アイルランド	7.80	7.72
英国	5.38	5.32
日本	3.33	3.29
台湾	3.26	3.22
インド	2.73	2.70
フランス	2.53	2.50
その他	8.24	8.15
	100.00	98.91

日興AMグローバル・エクイティ・ファンド
純資産計算書

2021年12月31日現在

	米ドル
資産	
組入有価証券（簿価）	305,585,102.68
有価証券に係る未実現評価益	65,580,781.16
投資有価証券（市場価格）	371,165,883.84
銀行預金	10,726,344.09
運用会社からの払戻	113,063.28
売却受益証券に係る未収金	2,362,000.00
還付請求源泉徴収税に係る未収金	9,204.24
未収配当金および未収利息	87,186.53
資産合計	384,463,681.98
負債	
未払費用	278,124.31
投資購入に係る未払金	8,063,330.93
外国為替先渡契約に係る純未実現評価損	849,481.04
未払利息	54.91
負債合計	9,190,991.19
期末純資産	375,272,690.79

日興AMグローバル・エクイティ・ファンド 損益計算書および純資産変動計算書

2021年12月31日に終了した年度

	米ドル
収益	
配当金（源泉徴収税控除後）	2,351,800.46
銀行預金利息	55.71
運用会社からの払戻	188,993.03
収益合計	<u>2,540,849.20</u>
費用	
運用報酬	900,292.62
預託報酬	29,299.37
管理報酬	305,018.13
専門家報酬	40,517.20
取引費用	35,390.12
年次税	38,919.89
銀行借入利息	8,122.07
名義書換代理人報酬	3,327.64
印刷・出版費用	6,851.75
設立費用	1,684.90
税金費用（年次税を除く）	24,472.12
その他の費用	34,297.73
費用合計	<u>1,428,193.54</u>
純投資利益	<u>1,112,655.66</u>
実現純（損）益内訳：	
投資	30,227,936.43
外貨換算	(712,670.50)
外国為替先渡契約	(4,197,188.16)
当期実現純利益	<u>26,430,733.43</u>
評価（損）益の純変動額内訳：	
投資	17,600,624.16
外国為替先渡契約	(924,924.04)
運用による純資産の増加額	<u>43,106,433.55</u>
申込受益証券に係る受取代金	141,000,465.87
買戻受益証券に係る純支払額	(5,413,888.63)
期首純資産	196,579,680.00
期末純資産	<u>375,272,690.79</u>

日興AMグローバル・エクイティ・ファンド 統計情報

2021年12月31日現在

2021年12月31日現在

日興AMグローバル・エクイティ・ファンド

純資産価額	USD	375,272,690.79
受益証券1口当たり純資産価額		
クラスA USD	USD	26.60
クラスB EUR	USD	20.58
クラスB USD	USD	17.99
クラスD GBP	USD	28.14
クラスP JPY	USD	0.02
クラスP (JPYヘッジド・ユニット)	USD	0.02
クラスPII JPY	USD	0.01
クラスU AUD	USD	18.89
受益証券1口当たり純資産価額		
クラスA USD	USD	26.60
クラスB EUR	EUR	18.10
クラスB USD	USD	17.99
クラスD GBP	GBP	20.78
クラスP JPY	JPY	2.70
クラスP (JPYヘッジド・ユニット)	JPY	1.84
クラスPII JPY	JPY	1.11
クラスU AUDs	AUD	25.99
株数		
クラスA USD		4,813,811.81
クラスB EUR		100.00
クラスB USD		1,252,946.85
クラスD GBP		27,289.84
クラスP JPY		1,029,739,171.00
クラスP (JPYヘッジド・ユニット)		3,444,718,831.00
クラスPII JPY		9,800,000.00
クラスU AUD		7,656,623.60

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第13期（決算日 2022年10月12日）
（2021年10月13日～2022年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行いません。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
9期(2018年10月12日)	円		%	%	百万円
	10,032		△0.1	—	595
10期(2019年10月15日)	10,028		△0.0	—	586
11期(2020年10月12日)	10,025		△0.0	—	888
12期(2021年10月12日)	10,023		△0.0	—	1,125
13期(2022年10月12日)	10,022		△0.0	—	560

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首) 2021年10月12日	円		%
	10,023		—
10月末	10,023		0.0
11月末	10,023		0.0
12月末	10,023		0.0
2022年1月末	10,023		0.0
2月末	10,023		0.0
3月末	10,023		0.0
4月末	10,023		0.0
5月末	10,023		0.0
6月末	10,022		△0.0
7月末	10,022		△0.0
8月末	10,022		△0.0
9月末	10,022		△0.0
(期 末) 2022年10月12日	10,022		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2021年10月13日～2022年10月12日)

基準価額の推移

期間の初め10,023円の基準価額は、期間末に10,022円となり、騰落率は△0.0%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.03%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.03%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.11%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.16%近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

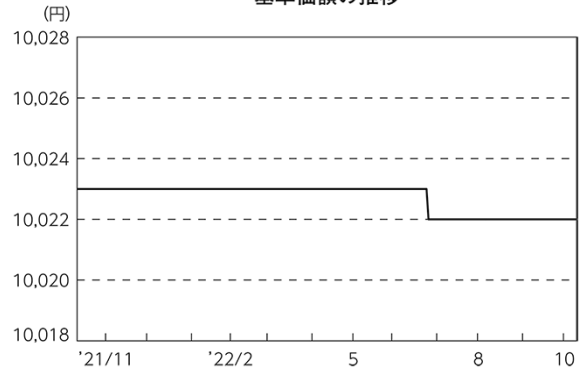
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2021/10/12	2021/10/13	2022/06/27	2022/10/12
10,023円	10,023円	10,022円	10,022円

○1万口当たりの費用明細

(2021年10月13日～2022年10月12日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2021年10月13日～2022年10月12日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2021年10月13日～2022年10月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年10月13日～2022年10月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2022年10月12日現在)

2022年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2022年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 561,034	% 100.0
投資信託財産総額	561,034	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年10月12日現在)

項	目	当	期	末
				円
(A) 資産				561,034,411
コール・ローン等				561,034,411
(B) 負債				403,742
未払解約金				403,445
未払利息				297
(C) 純資産総額(A-B)				560,630,669
元本				559,411,728
次期繰越損益金				1,218,941
(D) 受益権総口数				559,411,728口
1万口当たり基準価額(C/D)				10,022円

(注) 当ファンドの期首元本額は1,123,207,498円、期中追加設定元本額は39,043,309円、期中一部解約元本額は602,839,079円です。

(注) 2022年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル・プロスペクティブ・ファンド	329,794,812円	・エマージング・プラス・円戦略コース	784,570円
・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	94,654,066円	・欧州社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	531,007円
・グローバルC o C o債ファンド 円ヘッジコース	18,512,403円	・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジあり	523,559円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーボールファンド)	15,273,943円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォーカス(毎月分配型)	376,786円
・アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	11,470,095円	・グローバルC o C o債ファンド 新興国高金利通貨コース	305,120円
・エマージング・プラス(マネーボールファンド)	9,945,260円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	300,797円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース>(毎月分配型)	9,503,745円	・グローバル株式トップフォーカス	298,485円
・インデックスファンドMLP(毎月分配型)	7,465,062円	・欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	233,387円
・グローバルC o C o債ファンド ヘッジなしコース	7,032,101円	・グローバルC o C o債ファンド 先進国高金利通貨コース	221,561円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	6,997,802円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>(毎月分配型)	140,987円
・世界標準債券ファンド	6,483,635円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマージング)	99,902円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	6,279,477円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジあり)	50,629円
・ビッグデータ新興国小型株ファンド(1年決算型)	4,614,417円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)	22,285円
・アジアリートファンド(毎月分配型)	3,338,518円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなし	3,163,709円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	3,145,270円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	3,086,959円	・D C世界株式・厳選投資ファンド	10,683円
・グローバル・ダイナミックヘッジα	2,616,462円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>(毎月分配型)	2,536,890円	・上場インデックスファンドフランス国債(為替ヘッジなし)	9,979円
・グリーン世銀債ファンド	1,624,339円	・上場インデックスファンドフランス国債(為替ヘッジあり)	9,979円
・アジアREITオープン(毎月分配型)	1,579,920円	・上場インデックスファンド豪州国債(為替ヘッジあり)	9,978円
・ノーロード・インド株式フォーカス(毎月分配型)	1,393,009円	・上場インデックスファンド豪州国債(為替ヘッジなし)	9,978円
・SMB C・日興 世銀債ファンド	1,350,193円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500) 為替ヘッジあり	9,967円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>(毎月分配型)	1,248,385円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジなし)	9,958円
・インデックスファンドMLP(1年決算型)	1,245,765円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジあり)	9,958円
・日興マネー・アカウント・ファンド	1,015,998円		

(注) 1口当たり純資産額は1.0022円です。

○損益の状況

(2021年10月13日～2022年10月12日)

項	目	当	期
(A)	配当等収益		円
	受取利息	△	117,744
	支払利息		349
(B)	当期損益金(A)	△	118,093
(C)	前期繰越損益金		△ 117,744
(D)	追加信託差損益金		2,632,057
(E)	解約差損益金		88,766
(F)	計(B+C+D+E)	△	1,384,138
	次期繰越損益金(F)		1,218,941

(注) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2021年10月13日から2022年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。